

留学先大学： カレル大学  
 留学先での所属学部・研究科： 社会科学部  
 留学先での在籍身分： 交換留学  
 留学期間： 2012 年 9 月～ 2013 年 6 月  
 神戸大学での所属学部・研究科： 法学研究科  
 学年（出発時）： M1  
 本報告書記入日： 2013 年 9 月 6 日

### 授業について

留学中に履修した授業について記入してください。

No.	コース名	教授名	時間数 /週	留学先 での単 位数	履修し ている 学生数	予習, 復習, テスト等についてアドバイスも含めて教えてください。
1	European policies and practice towards ethnic minorities	Antonin Mikeš	1 . 5	9	1 0	予習でテキストを読む必要あり。テストはなく、ペーパーとプレゼンに基づいて成績評価。
2	The EU and the Member States after 2000	Lenka Rovná	1 . 5	6	5 0	予習でテキストを読む必要あり。テストはなく、ペーパーに基づいて成績評価。
3	Legal Framework of European Integration	Ivo Šlosarčík	1 . 5	6	2 0	予習で欧州司法裁判所の判例を読む必要あり。成績評価はテストとペーパー。
4	Security Issues in Japan and the Far East Asia	Takashi Hosoda	1 . 5	6	1 5	予習復習の必要なし。テストは無く、ペーパーに基づいて成績評価。
5	Czech for Beginners 1	Edita Frantesova	2	6	1 5	予習は必要ないが、復習が必要。筆記試験あり。
6	Czech for Beginners 2	Edita Frantesova	2	6	1 5	予習は必要ないが、復習が必要。筆記試験と口述試験あり。
7	English for International Studies 1	Jana Kunzová	2	2	2 0	予習でテキストを読む必要あり。テストは中間と期末の二回。
8	English for Political Sciences 1	Kamila Panešová	2	2	2 0	予習でテキストを読む必要あり。テストは中間と期末の二回。
9	English for Political Sciences 2	Kamila Panešová	2	2	2 0	予習でテキストを読む必要あり。成績評価はテストとプレゼン。テストは中間と期末の二回。
1 0						

授業（カリキュラム等）のクラスのサイズ、成績評価、現地学生の取り組み等

授業数は、学部・大学院ともに神戸大学よりもずっと多い。日本の大学院の授業はほとんどがゼミ形式で、テストは無くレポート提出で成績評価が決まることが多いが、カレル大学は大学院でも講義形式の授業も多かった。講義形式のクラスのサイズは10-100人ほど、ゼミ形式のクラスは5-25人ほど。半年で留学を終えるエラスムス留学生が多いため、春学期は秋学期よりも学生数が減る。授業中にノートパソコンで講義ノートを作成する学生が多い。授業に登録せず聴講だけすることも可能。

### 費用について

留学期間を通して必要だった費用を記入してください。（概算で結構ですので、円価で記入してください。）

- ・航空運賃： 200,000
  - ・住居費：（月額） 12,500 ×（留学月数） 12 ヶ月 = 150,000
  - ・食費：（月額） 30,000 ×（留学月数） 12 ヶ月 = 360,000
  - ・保険料： 280,000
  - ・その他： 100,000
- 合計： 109,000 （留学期間全体の費用）

## その他 自由に記入してください。（800字～）

チェコは観光地以外は基本的に英語が通じないため、チェコで生活するには最低限のチェコ語は必須。従って、留学前からチェコ語の勉強はしておいたほうが良い。自身は留学半年前から京都で開かれているチェコ語教室に通い、カレル大学でも留学生のためのチェコ語講座を受講した。とは言え、チェコ語は非常に難しく、一年間での上達の程度は知れているため、寮の受付や警察（ビザの更新と盗難届の際に行った）といった英語が通じない場所では、誰かに通訳をしてもらう必要があった。そういった場所では、クラスメート、カレル大学が手配してくれるバディー（留学生生活を手助けしてくれる現地の学生）や、事前に留学生センターの方に紹介してもらったチェコ人の方に助けてもらった。神戸大学から留学する人は、チェコ（語）専攻ではない人がほとんどだと思うので、現地での生活で困ったときに助けてくれるチェコ語ができる人をできるだけ早く見つけておくのは、大事だと思う。

前述のように社会科学部は開講されている授業が非常に多く、シラバスを見ているとあれこれ履修したくなる。もちろん個人のキャパシティにも依るが、実際に一学期間で消化出来るのは語学も含めて4-5個程度の授業だと思う。ほとんどの授業で事前の予習（テキストのリーディングや小レポート、課題の提出等）があるので、真面目にやるとこれだけの数でも一週間こなすのが大変なうえに、学期末のペーパー提出時やテスト期間に火の車状態になる。仮にやりこなせたとしても、勉学以外のこと（余暇の時間や友達との交流の時間）が全く出来ないという状態になりかねない。実際、同時期に日本の他の大学から留学している友人は、秋学期がこのような状態になってしまい、後悔しているようだった。従って、登録した授業の他に興味のある授業があれば、聴講だけするのがよいと思う。自身は、主に、EU関連の講義とエスニックマイノリティ関連の講義を履修した。どちらも日本の大学ではなかなか学べないような内容だったので、非常に有意義であった。今後の研究に活かしていきたい。留学期間に関しては、半年間ではチェコやプラハ、カレル大学を十分に楽しむことはできないので、一年間の留学を強くお勧めする。実際、一年間の留学でも足りないと感じた。

寮に関しては、狭い部屋にルームメイトと二人で住むので、相性が悪いとなかなか大変だと思う。自分の場合は、全くコミュニケーションを取ろうとしないスロバキア人のルームメイトで、最初はかなり困惑したが、ほとんど部屋にいない人だったので何とかだった。どうしても相性が悪い場合は部屋を変えてもらうことも可能。共用スペースでの盗難が多いので注意が必要。キッチンに食器や調理器具、食材を置いていると、すぐに盗まれる。自分もキッチンに置き忘れた洗剤やボウルなどを盗まれた。また、一階に住んでいた友人は、窓を閉め忘れて出かけた結果、窓から侵入した泥棒にノートパソコンを盗まれていた。泥棒が寮内に住んでいるのか、外部から侵入しているのかは分からないが、十分に注意が必要。

留学中に大雨のせいでプラハ市内を流れるブルタヴァ川が氾濫したが、そのときは日本大使館から緊急メールが届いた。このような緊急連絡に加え、在外選挙のお知らせなども届くので、チェコに到着したら忘れずに大使館に在留届を提出しなければならない。オンラインで登録することが可能。

留学全体の反省としては、カレル大学に留学している外国人留学生とはたくさん交流出来たが、チェコ人学生や大学外の人とはあまり交流できなかったという点がある。理由としては、英語の授業に出席するためクラスメートにおける留学生の割合が多い、寮の自分の部屋の周りに留学生が多かったといった点が挙げられる。もっと積極的に留学生以外のクラスメートと交流するべきであったと思う。また、履修登録した自分の興味のある授業にだけ参加していたが、それ以外の授業も積極的に聴講することでもっと幅広く学べたのではないかと思う。